

2022年度 第2回事例検討会

日時：2023年2月19日（日）13:00～16:00

方法：オンライン開催（Zoomミーティング使用）

● 企画趣旨

私たちは、常に緊急度や重症度が高い患者に対する最善の医療やケアの提供を目指しています。ですが、私たちが関わる急性期は、慢性病とともにある人にとっては、長い闘病生活の一部に過ぎません。少子超高齢化のこの時代を生きる私たちには、急性期から回復期を経て地域で生活するその人らしさを一層大切に作る視点が求められています。そこで、今回の事例検討会では、**急性増悪を経験する慢性病とともにある人の看護**
～その人らしいこれまでの暮らしを視野に入れた高度看護実践とは～をテーマとしました。3名のCCNSより事例提供を受け、高度看護実践について議論を深め、日々の看護実践や今後を切り拓く看護の方向性への示唆を得たいと考えます。

● 内容

情報共有	日本専門看護師協議会の動向について	北里大学病院	樽松久美子さん
事例提供 1	認知症とともに生活を考えてきた高齢者の脳出血症例 ～急性期・亜急性期の看護を振り返って～	公立学校共済組合関東中央病院	看護部/脳外科 齋藤大輔さん
事例提供 2	末期心不全患者のICUから在宅支援への実践 ～患者の希望を叶えていく ための病院-地域連携～	高知赤十字病院	看護部 井上和代さん
事例提供 3	ICTを活用した心不全患者の疾病管理～積雪寒冷地における現状と課題	北海道科学大学	保健医療学部 看護学科 石川幸司さん

* 当日はグループワークおよび総合討論を予定しております

● 対象者

日本専門看護師協議会正会員・賛助会員（無料）

● 申込方法

QRコードからお申し込みください（**2月12日まで**）

● お問い合わせ先

tsasa@hiroshima-u.ac.jp（佐々）

● 企画担当

齋藤 井野 石川 佐々 伊藤(真) 津田 樽松

